

地域包括ケアシステム維持のための ICT の活用に関する研究会（第 6 回）議事概要

1 日 時 令和 5 年 7 月 20 日（木） 15:00～16:00

2 場 所 東北厚生局 16 階会議室

3 出席者

（構成員）

藤田構成員（座長）、大坂構成員、平田構成員

（事務局）

鯨井局長、鈴木健康福祉部長、宮澤地域包括的支援構築施策分析官、
佐藤地域包括ケア推進課長

4 議事概要

事務局より資料に基づき、第 5 回研究会での各構成員からの意見と対応案の整理、それを踏まえた報告書（案）について説明。その後、質疑、意見交換が行われた。

本日の意見を踏まえた報告書の取りまとめについては座長一任とした。

〔主な意見〕

<報告書（案）について>

○ 1 「はじめに」

- ・「サービス提供の効率化と生産性の向上」について、もう少し具体化する必要がある。
- ・生産性の向上について、効率化されて便利になっても、質が落ちては問題である。

○ 4 「ICT 活用の基本的な考え方」について

- ・地域包括ケアシステム構築についての将来像には踏み込んでいないため、3 と 4 がうまく繋がっていない。
- ・今後も新しい技術の取り入れ方について議論をしていくことは必要である。

○ 4（4）の既存技術の活用の標準化の説明について

- ・スマホ等、多数の人が持っているものを土台としてみんなで使えるような道筋を作り共有する必要がある。

○ 4（5）データの活用について

- ・本来サービスが必要な人にサービスが届くことが重要である。
- ・データの活用により見えていない部分が可視化されるのではないか。
- ・事業者間での連携に向けたデータの標準化に向けた取組みが必要。

以上